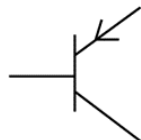


- 1 旋盤とは、工作物を主軸に取り付け、切削工具を回転させながら加工を行う工作機械である。
- 2 導体に流れる電流の大きさは、加えた電圧に比例し、導体の抵抗に反比例する。
- 3 2極と4極の三相誘導電動機を同じ電源で使用する場合、4極の回転数は2極の回転数の2倍になる。
- 4 三相誘導電動機は、3本の電源線のうち、いずれかの2本の接続を入れ替えると回転方向が逆になる。
- 5 事後保全とは、設備に故障が発見された段階で、その故障を取り除く保全活動である。
- 6 予防保全には、劣化を防ぐ活動、劣化を測定する活動、劣化を回復する活動の3つがある。
- 7 ウォータハンマ(水撃現象)の発生を防止する方法の1つとして、弁をできるだけ急速に閉めることが挙げられる。
- 8 歯車の伝達トルクに脈動が起きた場合には、歯車のバックラッシュを大きくする。
- 9 パレート図は、設備故障の低減活動の優先付けをするときなどに用いる。
- 10 特性要因図とは、特性(結果)に対して、その要因を体系付けられるように図で表現したものである。
- 11 ステンレス鋼は、鉄鋼にニッケル(Ni)と亜鉛(Zn)を加えて性質を改良したものである。
- 12 S20Cの炭素含有量は、約0.2%である。
- 13 焼なましとは、材料を適切な温度に加熱し、短時間で冷却することをいう。
- 14 ボール盤作業では、必ず手袋を装着する。
- 15 5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)の「整頓」とは、必要なものと不要なものを区分し、不要なものを置かないことをいう。

- 16 サーボモータとは、位置や速度をフィードバック制御できるモータである。
- 17 インバータは、電動機の過負荷や拘束状態の大電流による焼損を防止するために使用される。
- 18 リミットスイッチは、コンベア上を搬送されているワークの位置を検出することができる。
- 19 バイポーラトランジスタは、N型とP型の半導体がP-N-PまたはN-P-Nの接合構造を持つ3端子の半導体である。
- 20 静電誘導とは、抵抗体に電流が流れると、ジュール熱が発生する現象である。
- 21 原子核は、陽子と電子で構成される。
- 22 消費電力100Wの電熱器を1時間使用したときの消費電力量は、360kJである。
- 23 入力をA、Bとした場合、論理回路における「AND」は、「A+B」である。
- 24 アナログ式回路計(テスタ)で電圧・電流を測定する際は、最小測定レンジから順次上位に切り替えて測定する。
- 25 三相誘導電動機の軸受部が異常に高温となる原因として、巻線の絶縁低下が考えられる。
- 26 地絡とは、2つの相、または3つの相の線間が負荷を通さずに接触した状態である。
- 27 抵抗器のカラーコードは、抵抗値や許容差などを表す。
- 28 アルミニウムやタングステンは、導電材料である。
- 29 日本産業規格において、下図は、「PNP型トランジスタ」の電気用図記号である。



- 30 日本産業規格において、下図は、「電力計」の電気用図記号である。

